

祝 飯盛城跡が

国史跡に指定されました

国史跡とは、遺跡の中でも日本の歴史・学術上、価値の高いものを国が指定したものです。飯盛城跡が指定されたことで、大東市に初の国史跡が誕生しました。

上原 真人

京都大学名誉教授。飯盛城跡の調査研究に関する専門委員会会長



歴史的検証を経た初の国史跡山城

大阪府下における中世山城の国史跡指定は、南河内郡千早赤阪村の千早城跡・楠木城跡（上赤阪城跡）・赤阪城跡、河内長野市の烏帽子形城に次ぐものです。しかし、千早城などは昭和9年、福島県の霊山（北畠顕家の居城）や神奈川県川崎市の稲村ヶ崎（新田義貞伝説地）などと同様、南朝顕彰を目的に指定されたもので、厳密な測量・分布・発掘調査による歴史的検証を経た中世山城の指定は飯盛城跡が最初となりました。全体像がほぼ明らかになった飯盛城跡は、天下人に先駆けた三好長慶の先進性や先駆的業績を具体的に示します。これまでもハイキングコースとして訪問者は多くありましたが、今後は戦国時代末期を体感できる遺跡として整備されることが期待されます。

中井 均

滋賀県立大学名誉教授。専門分野は考古学で城郭研究の第一人者



飯盛城跡の縄張りから読み解く権力構造

戦国時代の山城は山を切り盛りして築いた、土から成る土木施設でした。ところが飯盛城跡では調査の結果、石垣によって築かれた先進的な山城であることが判明しました。さらに山上に千畳敷と呼ばれる曲輪があり、三好長慶は山頂で暮らしていたようです。戦国時代は山麓に居館を構える構造が一般的でしたが、長慶は山城に住むことにより、山麓

ここがすごい!

飯盛城跡まるわかり

飯盛城跡は、大東市・四條畷市にまたがる飯盛山に築かれた戦国時代末期の山城です。

木沢長政の城として文献上はじめて登場し、その後城主は、安見宗房を経て三好長慶が居城としました。飯盛城は山城では珍しい本格的な石垣が城域全体に取り入れられました。

其の一 西日本最大級の山城

城を構成する遺構は山頂を中心に残されており、城域は東西400m、南北700mに及びます。

其の二 石垣ワンダーランド

飯盛城は織田信長が築城した安土城に先行する本格的な石垣づくりの城です。

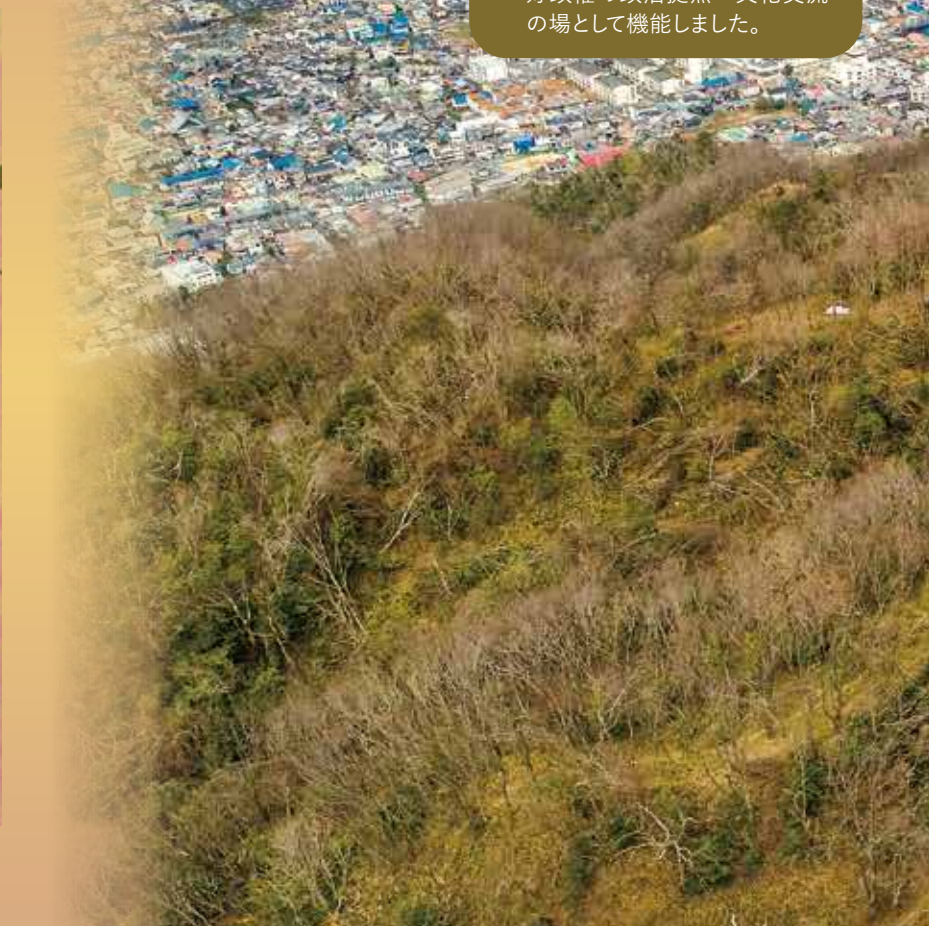
其の三 最初の天下人・三好長慶の居城

永禄3年(1560)に三好長慶が飯盛城を居城とし、その後は三好政権の政治拠点・文化交流の場として機能しました。



「飯盛城想像鳥瞰図」

作画:山本ゾンビ/監修:中井均氏、中西裕樹氏/
大東市、四條畷市、摂河泉地域文化研究所



飯盛城の城主たちは戦国時代を象徴するように、上をめざす活力に溢れ、城の格も大変高かったのです。

宗房を追いついた三好長慶は將軍を超える権力を手中にし、後世「天下を治めた」と称えられます。そうした長慶を慕う三箇頼照は、深野池から城内に居を移し「三ヶ殿曲輪」を設けました。



三好長慶肖像画

飯盛城の城主たち

飯盛城は三好長慶の居城として知られていますが、築城したのは、幕府管領家の一つで河内を治める畠山氏の家臣の木沢長政でした。長政は主家の分裂を巧みに利用して成り上がり、京都の足利將軍、摂津の細川氏、河内の畠山氏が三すくみの北河内に割拠します。

その長政に代わり城主となったのが、「飯盛御屋形様」と呼ばれた畠山在氏です。言わば、飯盛城は大阪府庁となりました。次いで、交野市を拠点とする安見宗房が入城します。宗房は名物茶器を有し、風流の屋敷を造営する一方、大和にまで勢力を伸ばしました。

天野 忠幸

天理大学准教授。専門分野は日本中世史で三好長慶研究の第一人者



から見上げられることを意識したとともに、山城から畿内全域を眺望したものと考えられます。

日本の城郭は織田信長の安土築城以降石垣や瓦、天主をもつ城となりますが、長慶も飯盛城で石垣や礎石建物、瓦を導入します。こうした飯盛城の構造は長慶が天下を睨んで新たに築いた山城として評価できます。

飯盛城跡を

見に行こう！



凡例

曲輪・土塁



石垣



堀切・塹堀



ハイキング道



補足

くるわ

曲輪

山を切り盛りしてつくった平坦面

どるい

土塁

山を盛り上げてつくった防御壁

たてぼり

塹堀

斜面に沿って掘られた空堀

当時の様子を
想像して歩くと、
時空を超えた
ハイキングが
楽しめるかも！

※多くの石垣は急斜面地に位置しており、
前面までの見学ルートはありません。
ハイキング道をそれての見学は転落・
滑落事故の危険がありますので、絶対にやめてください。

1



**こぐち
虎口……** 城の出入口。飯盛城跡の虎口には両側に石垣が築かれ、また虎口からは、上の曲輪が見通せないよう防衛の工夫がされています。

2



**いしがき
石垣……** 飯盛城跡では450年以上前に築かれた石垣が30か所以上も見つかり、2メートルを超える高さの本格的な石垣が城主の威光を示すように城の要所に築かれています。飯盛城跡の石垣は自然石を利用した野積みの石垣で、当時の土木技術を伝える貴重な遺構と言えます。

3



4



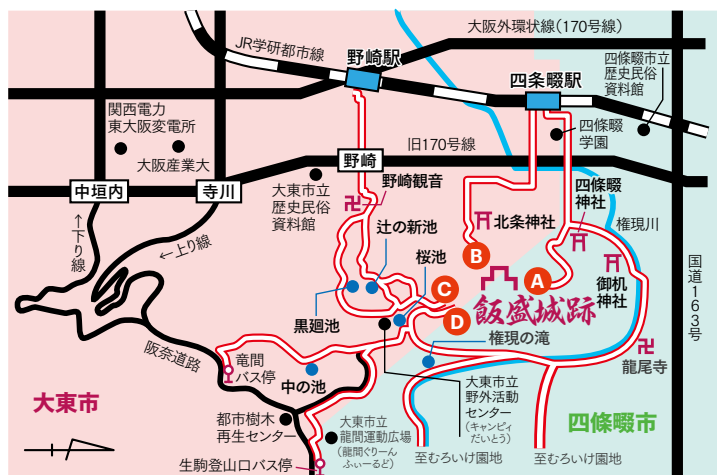
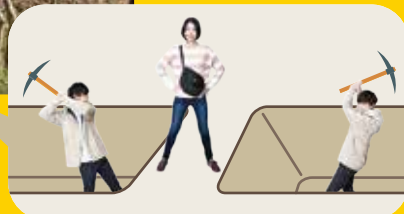
**ほりきり
堀切……** 尾根をスパッと断ち切る堀。尾根づたいに攻めてくる敵を足止めする。写真は飯盛城内で最大の堀切。



5



**どばし
土橋……** 堀切を掘ったときに通路部分を掘り残し、橋にしたもの。



※JR 四条駅下車、徒歩約100分 ※JR 野崎駅下車、徒歩約90分
※JR 住道駅下車、近鉄バス16系統生駒登山口行き「竜間」下車、徒歩約40分

アクセスマップ



三好長慶生誕500年を来年に控え、市に初の国史跡が誕生しました。これを機会に、ぜひ広報誌を持って、飯盛城跡へお出かけください。

今後は、飯盛城跡の保存・活用の取り組みを進めていきます。



◀詳しいハイキングマップはこちら

図生涯学習課 ☎870・9105

間近で見る石垣は
迫力満点！